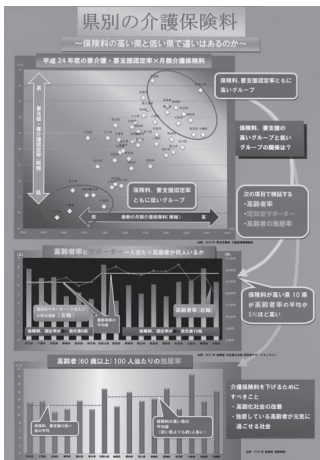


最高賞・金賞と入選一席に選出

岡山理科大学

今年で63回目を迎えた「平成27年度岡山県統計グラフコンクール」のパソコン統計グループの部において、岡山理科大学（岡山市）総合情報学部



文章を極力減らし、ひと目で分かるグラフ表現を実現。背景のグラデーションが印象的だ

向上を目的としている。学年別の第1〜5部とパソコン利用の第6部があり、力作がそろった。小学生の手書きの受賞作品も注目に値する。

森教授のゼミナールでは、統計グラフコンクールに毎年意欲的に取り組んでおり、仁科さんの他に「銅賞」が2作品、1作品が「入選」を受けた。仁科さんの作品は「県別の介護保険料」をテーマにしており、介護保険料の違いを要介護・要支援認定率や高齢者率、独居率に着目しグラフで分かりやすく表した。介護保険料が高い10県は低い6県よりも高齢者100人当たりの独居数が多いことなど、その特徴がよく見える。

仁科さんは今年6月からテーマの検討、そして8月からは各都道府県の介護保険料の分析を行った。特にデータの整理には時間を要したが、努力が報われて本当に良かったです。同時に、データ分析の重要性を再認識するきっかけになりました」と、語った。